

地域精神保健福祉コミュニティー誌

ぱる通信

Apr. 2014

No. 197

4

特集:『これからの精神障害者の地域生活支援』
平成25年度精神保健福祉事業団体連絡会合同研修会参加報告



『からの精神障害者の地域生活支援 ～ソーシャルインクルージョンの実現に向けて～』 平成25年度精神保健福祉事業団体連絡会合同研修会参加報告

平成二十六年一月二十八日（金）・三月一日（土）、大田区産業プラザPiO「小展示ホール」にて、『平成二十五年度精神保健福祉事業団体連絡会合同研修会』が開催された。

「精神保健福祉事業団体連合会（精事連）」は、全国精神障害者社会福祉事業者ネットワーク（全精福連ネット）・日本精神保健福祉事業連合（日精連）・全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）の三団体により、昨年の四月に発足。組織の成り立ちや活動理念、事業方針等が異なる中で、これまで独自に活動を行ってきた各団体が、三年前の東日本大震災被災地への復興支援に関する協議を呼びかけ合い、精神保健医療福祉の課題に取り組む姿勢が共通するなかで、障害者権利条約の批准を視野に入れた地域生活支援の推進という大きな課題を追及していくこうということで発足し、「からの精神障害者の地域生活支援～ソーシャルインクルージョンの実現に向けて～」をテーマに今回の合同研修会開催に至っている。

ソーシャルインクルージョン社会をどう試行し、追及していくのか、長い経験をお持ちの社会福祉法人JHC板橋会の理事長である寺谷隆子氏にお聞きし、基礎を学ぼうということと合わせて、三年後に予定されている障害者総合支援法の見直しに向けての話もされた。

**※全国精神障害者社会福祉事業者ネットワーク
(全精福連ネット)**

全国の対象事業所の規模や組織形態から、地理的及び現時点の協力体制を考慮して日本列島を4つのエリアに区切り、①北海道を「ネットワーク北日本」、②東北・関東・北陸及び甲信越・東海の一部を「ネットワーク東日本」に、③東海の一部・関西・中国・四国を「ネットワーク西日本」、④九州・沖縄を「ネットワーク南日本」として位置づけ、各地のネットワーク等が出来る体制とし、事務局は4つのネットワークと連携しながら、情報の提供やメールマガジンの配信、資料の配付、福祉サービスの向上や制度改善に向けた実態調査等の依頼など

「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念である。EUやその加盟国では、近年の社会福祉の再編にあたって、社会的排除（失業、技術および所得の低さ、粗末な住宅、犯罪率の高さ、健康状態の悪さおよび家庭崩壊などの、互いに関連する複数の問題を抱えた個人、あるいは地域）に対処する戦略として、その中心的政策課題の一つとされている。

を行い、全国の会員事業者に必要な情報を提供する。

※日本精神保健福祉事業連合（日精連）

障害種別を越えた総合福祉法を基盤として精神障害者福祉を増進するためには、共通の福祉ニーズの上に立ち、個別ニーズに応えることができる地域生活支援における精神保健福祉の専門性が必要と考え、広く日本の精神保健福祉を推進する全国規模の事業として組織。

※全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）

全国各地で展開されている日常生活の支援、就労の支援などの活動の「点」と「点」を結ぶネットワークを作ること、そこから見出されてくる実践を国の施策に反映させることによって、精神障害者の地域での生活をより「居心地よく」「あたりまえ」のものにするための活動を行っている。

【基本的考え方】

クラブハウスの基本的考え方と基本原則

寺谷氏は、ソーシャルインクルージョン社会とは、誰もが社会の構成員として参加・参画し、学び合い支え合う責任を持つ、「人間尊重支援」の活動を始められました。

障害者をはじめ、家族、地域住民の参加を基本とする、企業、教育、司法などの多領域を包括した生涯にわたった尊厳を享有した人間の、仲間（ピア）としての支援を意識した取り組み

記念講演
「東京都板橋区における
ソーシャルインクルージョンの実践」

JHC板橋 寺谷隆子氏

だれもが支援のパートナー

JHC板橋は Joint・共同、共有、交流・

House・拠点・Cosmos・調和を原点にした取り組みを行い、一九八三年に精神科ソーシャルワーカーたち十一人の共同出資で設立された地域精神保健福祉のための非営利団体で、地域に根ざしたエンパワーメントと社会的包摵の包括的生活支援体制づくりを行つてこられました。二〇〇四年の心のバリアフリー宣言の指針が出されたとき、身をもつて地域の現場の中で、JHC板橋のみならず分かち合うために、精神疾患を正しく理解し、理解を促進するという活動を進めながら社会資源として何ができるのか考えられ、クラブハウスモデルの考え方にお会わされたそうです。これこそが自分たちの願いに叶う活動ではないか！と思い、クラブハウスの活動を始められました。

- 1.欠点に注目せずに長所に注目する
- 2.患者やクライエントではなく、メンバーである

一緒にすることである

- 3.してあげることではなく、
- 4.社会での実際の仕事に就くこと、

クラブハウス内での役割分担作業を

- 5.仕事に就く準備の出来ている人、出来ていない人にも平等に仕事の機会は与えられる
- 6.過渡的な雇用はリハビリーション

そのもの、同時に通常のフルタイムの仕事につくことを支援するもの

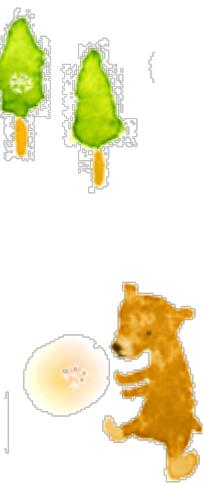
【基本原則（メンバーの権利）】

- 1.誰でも来ることができる
- 2.いつでも帰ってくることができる
- 3.意味ある人間関係を持つ
- 4.意味ある仕事につくことができる

の中で、社会の構成員の誰もが精神障害のあるないに関わらず、排除や差別をすることなく、誰もが存在を脅かされず、尊厳を冒されることのないクリエイティブな生き方をする権利を共有する仲間になつていくことを目指されて

います。近年はピアサポートというと、精神に障害があるかないかを問うというような狭い領域の世界へ入り込もうとするが、人生の旅路の中で、ある一時期であつても心の健康の危機に直面することは誰しもよくあること。ピアを孤立させるのではなく、ある一時期においても心の健康を脅かされた経験がある仲間として支え合うことが大切だと話されました。

JH C板橋の活動は、障害者をはじめ家族や地域住民全体の参加を基本としたあらゆる領域を包括し、生涯にわたり尊厳を共有した人間の仲間として板橋の地域に根ざすこと、このことがエンパワーメントとソーシャルインクルージョンの包括的な生活支援の体制づくりであると語られました。最後に「誰もが人間の仲間同士になって、だれもが支えあう責任を分かち持つ」と力を込めて話されていたのが印象的でした。



◆コーディネーター　木太直人氏
(日本精神保健福祉士協会常務理事)

◆シンポジスト
・伊澤雄一氏（全国精神障害者地域生活支援協議会代表）
・倉知延章氏（全国精神障害者社会福祉事業者ネットワーク代表）
・武田廣一氏（日本精神保健福祉事業連合代表）
◆コメンテーター　田中英樹氏
(早稲田大学教授)

いくために新たな居住支援のメニュー開発が必要なのではないかと話されていました。倉知延章氏は、専門的技術や知識を發揮してできるような制度設計と周りが安心して働ける制度設計の二つが必要で、今のままではソーシャルインクルージョン社会の実現が難しいのではないかと話されました。今社会資源を整備し、支援事業所のコストパフォーマンスが優先され、個々人に對しての重要なフォローアップに手がつけられない現状の改善が課題だと話されました。

武田廣一氏からは、地域生活支援に携わって三十年だが、振り返れば施設や事業からの「福祉」へのアプローチを行つただけで、地域のなかの生活から始まる「福祉」へのアプローチに至らなかつたと話され、ソーシャルインクルージョンに立つた地域生活支援を行える法制度や仕組みをつくるためには、他の障害福祉分野

だけでなく、高齢者福祉や児童福祉分野と連携した「高齢者・障害者総合福祉法案」の政策提言が求められるのではないかと話されました。

伊澤雄一氏は、個々人がaging in place(馴染み、親しみの、住み慣れた場所、選んだ居場所で安心して自分らしく歳を重ねる)を選ぶことができる社会、誰もが安心な社会を追及していくには、医療との連携や地域支援のマンパワー不足が課題であること話されました。それに加えて、脱病院を推進し、退院先の確保として、グループホームやケアホームの増設は一つの方法として大事だが、今後は選択の幅を広げて



シンポジウム 「ソーシャルインクルージョンの視点で 精神障害者の地域生活支援を考える」

3

分科会に参加して

「ソーシャルインクルージョンの実現に向けて」をテーマに据えた今回の研修会の企画の一つとして、居住・地域移行・職業生活の各領域においても実践報告と意見交換がなされました。その中の職業生活に焦点を当てた「精神障害者の就労支援」についての分科会の様子を少し紹介します。

NPO法人

コミュニケーション創（北海道）の取り組み

「IPSモデル」を柱として

「コミュニケーション創」では、本人が、「病気」とお金と相談しながら」「病気ともうまく付き合いながら」「健康も生活もひっくるめて働く」ことを支援していくよう、その人の「強み」「ストレングス」に着目した支援モデルを紹介されました。

私たちあすなろ福祉会でも、本人の「働く」ための重要な要素として「リカバリー＝その人がその人らしく、自分の納得のいく人生がおくれるようになる」と」を挙げていますが、こち

らの事業所でも「本人のリカバリー」への取り組みとして「IPSモデル」を取り入れられています。「IPSモデル」とは、「個別就労支援モデル（Individual Placement & Support）」

といって、「どんなに重い精神障害のある人々であっても、本人に働きたいという希望があれば、本人の興味、技能、経験に適合する職場で働くことができる。働くこと自体が治癒的であり、リカバリーの重要な要素となる。」と言わ

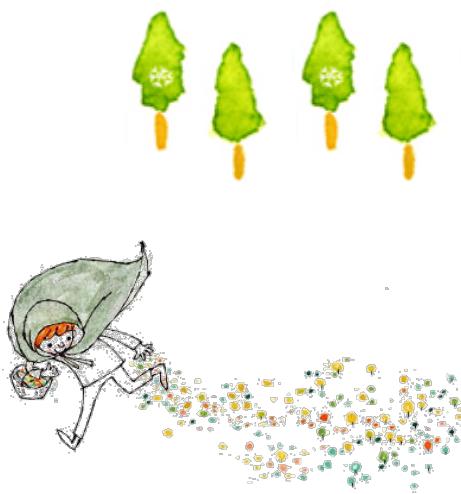
れています。その人の「長所や強み」に焦点を当て、本人が「どんなことがしたいか？」を大切にした本人を主体とした支援を大事にしています。

その視点に立ち、「コミュニケーション創」では「支援者の職場への介入は必要最小限に留める」ことを大切にしているそうです。支援者が介入することで、雇用主や本人の不安を解消し、問題解決への即効性はあるかもしれないが、本人が自分の課題を自分自身で解決する力を上げるのではないかとの考え方からです。また、精神障害者の職場への定着状況として三ヶ月未満での離職が42.1%、と比較的高い数字であることに對し、果たしてその原因として本人の「症状の不安定さ」「能力の不足」「本人の根性の問題」などに起因するのだろうか？との疑問を投げかけていました。そして、就労支援を円滑に進めるためにも現行制度の課題を洗い

出し、関係機関が本当の意味で連携を図りながら、本人のための、本人が主人公となる「希望」を持てる支援が必要であると力強く述べられています。

これらの話を受け、行政と事業所との柔軟なやりとり、双方が目的を共有し合うパートナーとしての位置づけ、情報提供や助言し合う関係づくりの構築の重要性を再確認しました。また、この分科会の最後にコーディネーターの倉知氏がおっしゃった言葉がとても印象的でしたので紹介します。

「われわれは支援者の立場として『制度の枠があつて自分たちの支援スタイルがあるのではなく、まず、どんな支援がしたいのか、どんな寄り添い方をしたいのか、そのためにはどんなサービスや制度が必要で、どう有効活用すればよりその人らしい暮らしを実現できるのか』を常に念頭に置いていかなければいけない」との考え方方に強く共感し、今後の自分自身の励みにもなるとともに有意義な分科会となりました。



視察研修報告

NPO法人わかくさ福氏会
就労移行支援事業ジネス

【東京都八王子市】



クロックムッシュ↑

ランチセット↑
(手作りパン)

元々織物工場だった場所を改装し、おしゃれであったかい空間を作られています。「ジネス」の売りは、何といっても天然酵母のパン。プロのパン職人の方と協働でカフェの運営を行っています。また、中古本発送業務では、インターネットのアマゾンを通して発注を受けています。施設内や企業実習でのアセスメントを通して、ご本人が希望する職場での就労をすすめているそうです。

【事業内容】 就労移行支援事業

◆ カフェ運営

(天然酵母パン & カフェ)

・厨房での作業 ・接客

◆ 中古本発送業務

・中古本の清掃、梱包、発送、パソコン作業

◆ 外部実習

・一般企業、スーパー、特例子会社等での実習

◆ 就労プログラム

・座学による勉強会 ・接客実習

・一分間スピーチ ・会社見学 ・模擬面接

◆ 定期面談

○ジネス。○に入る文字はいった何でしょう？ 答えは「ビジネス」＝「仕事」。そして○を埋めるのは、ご本人に秘められた「働くチカラ」。ジネスは、その○を埋めるお手伝いをします。

株式会社MARS
多機能型事業所MARE（マーレ）

【千葉県流山市】

【事業内容】 生活訓練・就労移行

◆ 生活訓練事業

○対人関係の支援・訓練

○食に関する支援・訓練

○洗濯・清掃・入浴・整容の支援

○金銭管理・服薬管理の支援

○交通機関利用・社会資源活用の支援

○趣味・余暇活動の支援

○住環境・家族関係の支援

◆就労移行支援事業

○カフェ＆バー オリゾンテ

○事務作業訓練

- ・個別訓練でのパソコンやファイリング等
- 就労に関するワークショップ
- ・関係機関や民間企業の専門家による講座
- ・就労イベントの企画・運営

※精神保健福祉士を中心のスタッフに加え、医療機関での経験豊富な認定ピアサポートアースペシャリストと共に事業所を運営。



ランチセット↑



『HAPPY CARD』

デザインが得意なピアスタッフの方が作成したカード。

元気になる言葉が詰まっています♪

「マーレ」とはイタリア語で「海」という意味。果てしなく続く海は、太古の時代から人間

のロマンを秘め、「希望」の源となっていました。

「社会」という大海原に航海する第一歩として「マーレ」はあり、自分らしく生きる事、自分の目標に向って出発する場所です。

四月八日（火）、護国神社にて毎年恒例の『お花見会』が開催されました。「一糸一今こそ深めよう！あすなろの和』をテーマに実行委員が楽しい出し物を企画。四十名の参加で、桜舞い散る中、肉あり、笑いあり、楽しいお花見会となりました。事業所の枠を越え、交流できた事で、あすなろの糸も深まったのではないでしょうか♪



肉あり、笑いあり、
桜の下で糸が深まつた♪

TOPICS



兵庫県相生市のピアソーター候補生と交流しました！



<今月のピア電話相談日>086-270-3325

	月	火	水	木	金	土
	14	15	16	17	18	19
AM	○	○	○			
PM	×	○	○	スタッフ研修のため閉所		
	21	22	23	24	25	26
AM	○	○	×	○	○	×
PM	×	○	○	○	○	×
	28	29	30	5/1	2	3
AM	○	×	×	○	○	×
PM	×	×	×	○	○	×

同じ体験を持つ仲間（ピア）と話がしたい、相談にのってほしい！という方、ピア電話相談を是非ご利用下さい！仲間が待っています♪



New face

新メンバー紹介

昨年ピアソーター養成講座を開講し、新たに8期生が加わり活動しています！遅くなりましたがクローバーの新メンバーを紹介します♪よろしくね！

- ① 趣味・特技・好きなもの ② 最近のマイブーム ③ 私のセールスポイント ④ ピアサポートで学んだ事 ⑤ ピアソーターになろうと思った動機は？どんなソーターを目指してますか？ ⑥ これからの夢 ⑦ 読者へメッセージ

安納 沙織（あんのう さおり） B型・いて座

- ① 趣味-読書、好きなもの-習い事に通うこと、新しいことを始めること
- ② コーヒーを入れること、立体ラテアートにチャレンジ
- ③ まじめ
- ④ 色々学びましたが、やっぱり人の話を聞くことは難しい
- ⑤ 気持ちにより添えるピアソーターになりたいです
- ⑥ いろんな人が休憩できる場所を作りたいです
- ⑦ よろしくお願いします



三月十七日(月)、兵庫県相生市より、社会福祉法人みどり福祉会の相談支援専門員一名、ピアソーター候補生二名、実習生一名の四名がピアソーターの立ち上げのため見学に来られました。以前見学に来られた赤穂市の方々から、クローバーのことを聞いたそうです。

とても乗りの良い方々で、ノリと突っ込みの絶妙の掛け合いがあり、兵庫県民性を感じました。ぜひ、その爽やかで元気な明るさを生かしたピアソーターになって欲しいと思いました。また「ぜひピアソーター養成講座を相生で開催してほしい！」という熱い要望も出ました。みどり福祉会の皆様、お土産に美味しい手作りプリンとクッキーをありがとうございました！

クローバーでは10月から12月末まで岡山県精神保健福祉協会が実施したアドボケーター派遣事業に参加し、精神科病院に入院中の患者さんに会いに行き、話をするなど時間を一緒に過ごすというアドボケーター（代弁者）として2名の患者さんとお知り合いになることができました。事業終了後も、この関係を大切にしたいという思いから引き継続中です。

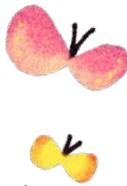
アドボケーターに参加して

初めてのことなので、最初の面談はドキドキしました。でも相手の患者さんがだんだんと打ち解けてくれて、ほっとしました。そして患者さんは看護師さん直接言えないことがたくさんあることが分かりました。面会が続くにつれてだんだんと元気になられて、私もとても嬉しかったですし、アドボケーターとしてやりがいを感じました。偶然ですが自分が面会に行った患者さんが退院することができ感激でした。また機会があれば、アドボケーターの仕事をやりたいと思います。岩崎薫



守屋 香 (もりや かおり) A型・いて座

- ① 読書、インターネット
- ② ビジネス書を読むこと
- ③ 話しかけやすい雰囲気……？
- ④ 傾聴時の共感の大切さ
- ⑤ 人の話に耳を傾けることで力になりたいと思ったから。相手が安心して話しかけやすい雰囲気を持ったピアソポーターになりたい
- ⑥ 身近なピアソポーターとして活躍したい
- ⑦ まだまだ未熟ですが、よろしくお願ひします。



松田 公代 (まつだ きみよ) A型・おひつじ座

- ① 音楽を聞くこと
- ② 才セロの対戦
- ③ 優しく、丁寧に話をする（聞くことができる）
- ④ 自分の意見を押し付けない
- ⑤ 人は絶望の中にいても希望を持つことができると思います。そんな方を支えるために自分も何かお手伝いしたいと思っていたからです。安心して楽しく時間を過ごしてもらえるようなソポーターになりたいです。
- ⑥ クローバーの仕事を無理せず、もっと日にちを増やせて頑張りたいです。
- ⑦ 毎週水曜日を楽しみにしています ^ ^



ぱるっこのお勧め文庫

-統合失調症から教わった14のこと-

「若い世代に伝える心の授業」
仕事を失い、家族を失い、家を失いながらも、人間の尊厳をかけてこころの病気と闘った、ある元教師のメッセージ。
ラグーナ出版（2014）著者：中山芳樹
感想言葉一つ一つにご自身の心の病との真摯に関わってきた中山さんを感じました。ぱるで楽しそうに談笑される中山さんの実り多き「人生の下り坂」を願っています ^ ^ お勧めです！木曾



ぱるの利用者の中山さんが出版されました！ぱるで購入できますよ★

いくつもの分かれ道を選んだ先で振り返る
もしあの道を歩いていたらどんな運命があつただろうと
でも迷わない
選ばれた道は歩まなければ先は見えない
歩めなかつた道の先を
無駄に想像しても
足跡は進んだ道にしか残らない
それを僕は分かつてゐる

奇跡

匿名

ぱるっこ広場

古楽日和 こがくびより

藤井 健喜

アップル社は、創業当時はアップル・コンピュータと称していて、そもそもはパソコンなどコンピュータを作っていた会社だった。それが今ではスマートフォンやタブレットといつた製品を作っている。アップル社といえばスマートフォンの会社だと思っている人が多いだろう。そういうこともあり、いつしかアップル・コンピュータ社は社名から「コンピュータ」の文字を外してしまった。コンピュータ以外の分野に進出した同社は、もはやコンピュータだけの会社ではなくなった。かつてパソコンといえば、ビジネスに欠かせない道具として、一世を風靡した。その勢いはウインドウズ95の登場とともに一般家庭にまで浸透した。パソコンは社会に必要な欠な製品として認知されたのである。ところが今はその同じ場所にスマートフォンやタブレットが居座っている。IT産業の移り変わりの早さにはおどろくばかりだ。そうした中、マックintoshが三十周年を迎えたというのも、なんとも時代の皮肉を感じてしまうのだ。

去る（二〇一四年の）一月二十四日、マックintoshが誕生から三十周年を迎えた。といつてもなんのことだかわからない人も多いと思う。マックintoshというのは、米国アップル社が開発、販売しているパーソナルコンピュータのことで、その初めての製品が発売されたのが、三十年前の一九八四年のことなのだった。

INFORMATION

4月の予定



4月

10	木	
11	金	
12	土	お抹茶教室 14時～ 鉄ちゃん13時～
13	日	カラオケサークル 10時～
14	月	ソフトボール 13時～
15	火	ぱるランチ・つどい 11時～ 陶芸 13時半～
16	水	SST10時～ パソコン講座 13時～
17	木	↑ スタッフ研修の為閉所します 17日～19日
18	金	↓
19	土	
20	日	
21	月	ソフトボール 13時～
22	火	パソコン講座 10時～ 陶芸 13時半～
23	水	パソコン講座 13時～
24	木	女子会 14時～
25	金	
26	土	山登り ぱる閉所
27	日	
28	月	ソフトボール 13時～
29	火	昭和の日
30	水	SST10時～ パソコン講座 13時～

5月

1	木	WRAP10時～
2	金	
3	土	憲法記念日
4	日	みどりの日
5	月	こどもの日
6	火	振替休日
7	水	パソコン講座 13時～
8	木	
9	金	

『ぱるスペースMOMO』 営業お休みのお知らせ



現在、『ぱるスペースMOMO』は、店内整備の為、お店の営業をお休みさせて頂いています。お店の再開が決まり次第、皆様にお知らせさせて頂きます。どうぞよろしくお願い致します。

MOMOスタッフ一同



- 発行:社会福祉法人あすなろ福祉会
- 〒703-8256 岡山市中区浜475-5
- 編集:ぱる・おかやま
- TEL:086-270-3322 FAX:086-273-9692
- E-mail:pal-oka@mx35.tiki.ne.jp

12日(土)

お抹茶教室

おいしいお抹茶とお菓子を頂きながら、ゆっくりとした時間を過ごしませんか♪

時間	14:00～
場所	ぱる2階

24日(木) おしゃべり大好き女子集まれ! 女子会♪

毎月1回、楽しい雰囲気の中テーマを決めて、女子トークに花を咲かせています。

時間	14:00～
場所	ぱる・おかやま

16日・23日・30日 パソコン講座

個別で進める講座です。初心者でも丁寧に進めていくので安心です。基本火曜日であります。

時間	13:00～
場所	Job Support Center ASUNARO
参加費	無料

14日・21日・28日(月) ソフトボール

共に汗を流しませんか?4月23日に万成フェニックスと練習試合があります!

時間	13:30～
場所	百間川河川敷

15日・22日(火) 陶芸教室

土を触ると癒されますよ。基礎からご指導します。独創的な自分の作品を作りましょう。

時間	13:30～
場所	ぱる1階

26日(土) トレッキングへ行こう♪ 春の山登り

リニューアルされた貝殻山へ一緒に登りませんか?山登りが初めての方でも登れる山です^ ^ 山頂で食べる弁当は格別ですよ♪

時間	9:30
集合	ぱる・おかやま
参加費	350円(弁当代込)
持ち物	1リットル以上水分、動きやすい服装 申し込みが必要なので参加希望者はお問い合わせ下さい(担当:田中)